

日本・ホンジュラス共同声明

1 安倍総理は、実務賓客訪問として代表团とともに訪日したファン・オルランド・エルナンデス・アルバラード・ホンジュラス共和国大統領及びアナ・ガルシア・デ・エルナンデス・ホンジュラス共和国大統領夫人を歓迎した。

両首脳は、教育、文化、科学技術及びエネルギー等の多様な分野における協力を含む両国の友好協力関係の緊密化、並びに中小零細企業支援及び投資促進を強調しつつ、本年が両国の外交関係樹立80周年及び日・中米交流年であることを歓迎した。

2 両首脳は、両国が民主主義、人権、法の支配といった基本的価値を標榜する国際社会の責任ある構成国として、ルールに基づく国際社会の平和と繁栄に向けた連携を推進していくことに対する揺るぎない責任を再確認した。

この意味において、安倍総理はエルナンデス・アルバラード大統領に対し、日本が戦後70年の間、平和国家として国際社会の平和、安定、繁栄のために大きく貢献してきたことを述べつつ、日本の国際協調主義に基づく「積極的平和主義」の立場及びその具体的な実践である「平和安全法制」について説明した。

これに対し、エルナンデス・アルバラード大統領は、1980年代に中米地域が経験した紛争後の地域の安定と復興に向けた日本の貢献を想起し、日本による緊急援助隊派遣法に基づく初の自衛隊派遣が、ホンジュラスに対して行われたことに改めて謝意を表明しつつ、「平和安全法制」の整備を含め、「積極的平和主義」により世界の平和と安定に向けて更に貢献しようとする日本の取組を支持し、歓迎した。

3 安倍総理は、エルナンデス・アルバラード大統領のリーダーシップの下、ホンジュラス政府が財政健全化、貧困対策、治安対策、汚職との闘い等に積極的に取り組んでいることを評価し、特に治安分野におけるエルナンデス政権の成果を評価した。

4 エルナンデス・アルバラード大統領は、中米のみならずラテンアメリカ全体にとって重要なイニシアティブとして、以下の3本柱に基づくホンジュラス外交の新たな優先課題について安倍総理に説明した。安倍総理は、これら取組の発展についてエルナンデス・アルバラード大統領を祝福し、ホンジュラスが国民のために引き続き発展を続けることへの期待を表明した。

(1)ホンジュラス、エルサルバドル及びグアテマラを対象とし、地域住民の福祉向上、労働・ビジネス環境改善、効率的な政府の実現、雇用創出、貧困削減、生活の質の向上及び機会の拡大を目指す全ての人々へのサービスの向上を目的とする「中米北部トライアングルの繁栄のための同盟計画」。

(2)ホンジュラス及びグアテマラの国境における人・商品の移動、統一関税地域の創設、原産地に因らない商品の自由な流通、対外共通関税及び税関の統合を促進する、両国による関税同盟に合意すること。

(3)雇用経済開発地域(ZEDE)及びホンジュラスが両大洋を繋ぐ中米物流センターとなる米州ロジスティクス・プロジェクト(コルテス港、カスティージャ港、アマパラ港及びパルメローラ空港)を中心とした、ホンジュラスへの投資の誘致を促進すること。

5 両首脳は、南米と北米及び両大洋の連結地点である中米の地理的重要性を強調し、同地域の発展が国際社会にとって重要であることを確認した。安倍総理は、ホンジュラスがエルサルバドル及びグアテマラと共に推進する「中米北部トライアングルの繁栄のための同盟計画」を、3か国の経済と社会の発展に貢献するものとして歓迎し、日本は引き続き防災、治安、インフラ整備、人材育成等、地域全体にも資する支援を行っていく旨述べた。

6 エルナンデス・アルバラード大統領は、国家経済成長戦略の主要計画につき説明し、ホンジュラスがインフラ整備及び投資拡大に向けて意欲的に取り組んでいる旨表明した。両首脳は、二国間経済関係の強化に向けて取り組むことの重要性を確認した。

7 エルナンデス・アルバラード大統領は、これまでの日本による経済協力が、ホンジュラスの貧困削減、持続的経済開発に向けた取組に大きく貢献していることに謝意を表明した。これに対して安倍総理は、日本が、ホンジュラスの地方活性化施策を中核とした持続的な社会経済開発に向けて、引き続き支援を行っていく旨表明した。

8 両首脳は、25年ぶりの新規円借款案件である、「カニャベラル及びリオ・リンド水力発電増強計画」に係る交換公文が本年3月に締結されたことに対して満足の意を表した。

9 エルナンデス・アルバラード大統領は、防災等様々な効果を有する地上デジタルテレビ方式日伯方式が、2013年にホンジュラスで採用されたことに対し満足の意を表した。安倍総理は、同方式が今後更に中米地域で普及・発展していくことへの期待を表明した。

10 両首脳は、本年、両国間の青年海外協力隊派遣取極締結から40周年を迎えることを歓迎した。エルナンデス・アルバラード大統領は、ホンジュラスへの青年海外協力隊の累積派遣人数が中南米最多である点を強調し、幅広い分野における青年海外協力隊による協力活動に感謝の意を表明した。

11 両首脳は、継続的な政治対話が二国間関係の包括的な発展のために果たす役割を確認し、両国の国民を代表する議会・議員間の交流促進の重要性を強調し、ホンジュラスと日本において友好議連が発足・再始動したことを歓迎した。

12 安倍総理は、日本と中南米地域との人的交流・相互理解を目的とする「Juntos!!中南米対日理解促進交流プログラム」につきエルナンデス・アルバラード大統領に対し説明し、エルナンデス・アルバラード大統領は日本によるイニシアティブに謝意を表するとともに、2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催を歓迎した。

エルナンデス・アルバラード大統領は、また、ホンジュラス柔道連盟に対して実施中の日本の支援に対して感謝の意を表し、日本のスポーツを通じた国際貢献策「Sport for Tomorrow」を高く評価した。

エルナンデス・アルバラード大統領は、娯楽としての公園を公共スペースに復活させるとの決心の下、ホンジュラス国民の健康的な生活習慣を促進し、国内観光、経済活性化、麻薬予防、家族の絆の強化に資する運動及び健康的な食生活のための大統領プロジェクト「躍動せよ、ホンジュラス」を作成した旨説明した。

13 エルナンデス・アルバラード大統領は、ホンジュラスをはじめとする中米諸国の経済的潜在性を強調し、中米統合を通じた同地域の更なる経済発展及び日・中米間の経済関係強化に対する期待を表明した。安倍総理は、5月にグアテマラにおいて開催された第2回目・中米ビジネスフォーラムが、多数の日本企業の参加を得て成功裡に開催されたことを歓迎するとともに、中米統合プロセスにおけるホンジュラスのイニシアティブを評価し、本年2月にホンジュラスとグアテマラが関税同盟に関する覚書に署名したことを歓迎した。

14 両首脳は、グローバル経済のなか更なる経済統合を促進すること、並びに環太平洋経済連携協定(TPP)を含め現在世界で交渉されている地域貿易協定を通じた経済の補完が重要であることを確認した。

15 両首脳は、防災、国連改革、人権、軍縮・不拡散、「法の支配」の貫徹といったグローバルな課題に対して協力して取り組むことの重要性につき再確認した。特に、両首脳は、一方的に現状を変更するための力の使用を否定し、紛争は平和的に解決されるべきことにつき一致した。

16 両首脳は、2015年3月に仙台において第3回国連防災世界会議が成功裡に開催されたことを歓迎した。エルナンデス・アルバラード大統領は、このような自然現象への理解を深め、対策の重要性について関心を高めることを目的として、11月5日を「世界津波の日」と定める安倍総理の提案を支持した。

17 両首脳は、軍縮・不拡散、テロ対策等の人類共通の課題により効果的に対応するため、国際場裡での協力を促進することで一致した。

また、21世紀の地政学的現実を反映する形で、その代表性、実効性及び作業の透明性を向上させるため、国連安全保障理事会を改革する必要性を強調し、国連創設70周年である本年中に具体的成果を得るために連携することで一致した。

エルナンデス・アルバラード大統領は、安保理改革に関する新たな提案を促し、また、国連総会において本イニシアティブを再活性化させることへの関心を強調しつつ、日本を含むG4のより開かれた安保理という提案に対し、ホンジュラス政府の支持を表明した。この関連で、双方は、安保理改革に関する政府間交渉において、ワーカブルな交渉文書に基づく交渉開始に向けて協力していくことを確認した。

18 両首脳は、北朝鮮による核兵器及び弾道ミサイル開発の継続について深刻な懸念を表明するとともに、北朝鮮に対して関連する全ての国連安保理決議及び2005年の六者会合共同声明の完全な履行を求めた。また、両首脳は国際社会が有する人道上の懸念である拉致問題の解決に向け協力していくことで一致した。

19 安倍総理は、「女性が輝く社会」に向けたビジョンに言及し、国際機関・国際社会との連携を強化し、女性の活躍及び社会進出の推進に貢献していく決意を表明した。エルナンデス・アルバラード大統領は、日本の取組を高く評価し、同分野における協力関係の重要性を確認した。

20 エルナンデス・アルバラード大統領は、日本の社会福祉分野に携わる人たちとの懇談の調整等、ガルシア・デ・エルナンデス大統領夫人に対するもてなしについて、総理夫妻に対して感謝の意を表した。

21 エルナンデス・アルバラード大統領は、両国間の関係強化をもたらした、大統領及びホンジュラス側一行に対する安倍総理及び日本国民の温かい歓迎及びもてなしに対して兄弟的な感謝の意を表するとともに、安倍総理に対しホンジュラスへの訪問を招待した。

本共同声明は、同じ内容であって同等の価値を有する日本語及び西語の2本の原本を有し、2015年7月22日に、東京において署名された。

安倍晋三
内閣総理大臣
日本国

フアン・オルランド・エルナンデス・アルバラード
大統領
ホンジュラス共和国